

平成 23 年春の試験植樹の実施

1 概要

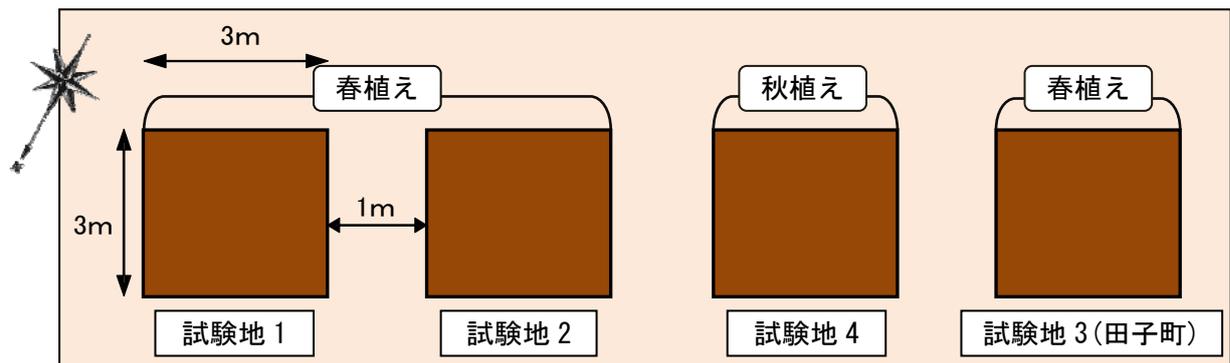
水処理施設稼働終了後の本植樹の実施に向け、平成 22 年秋に実施した 1 回目の試験植樹とは異なるエリアにおいて、現場内土壌を活用した複数の植栽方法により、2 回目となる春の試験植樹を 6 月 15 日（水）に実施しました。

今年度は秋の試験植樹も行い、1 回目と 2 回目の条件の違いや植栽する季節に着目した生育状況のモニタリングを行うことにより苗木の生育可能性を検討します。

2 試験地

区分	土質	耕耘	施肥
試験地 1	火山灰質ローム層	50 cm	無し
試験地 2			

○配置 1 試験地は一辺 3m の正方形とし、1m の間隔で配置しました。



○試験地 1

苗木は平成 22 年秋の試験植樹と同じ 12 種類の樹種を使用し、25 本を植樹しました。

- ・高木類 ミズナラ、ブナ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、ヤマザクラ、シラカンバ
- ・低木類 オオバクロモジ、ヤマツツジ、ガマズミ、オオカメノキ、タニウツギ、エゾアジサイ

○試験地 2

苗木は平成 22 年秋の試験植樹と同じ 12 種類の樹種を各 1 本と肥料分の乏しい土壌でも生育可能な先駆樹種であるハンノキ 13 本の計 25 本を植樹しました。

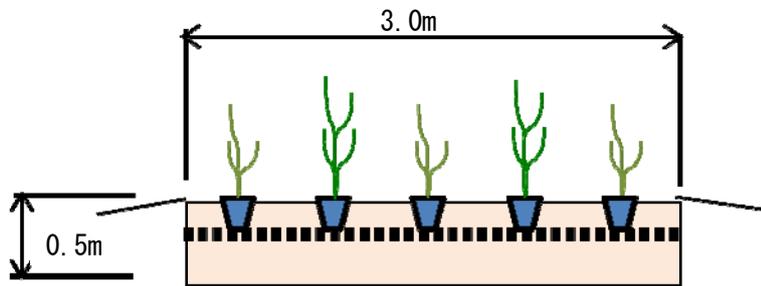
- ・高木類 ミズナラ、ブナ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、ヤマザクラ、シラカンバ
- ・低木類 オオバクロモジ、ヤマツツジ、ガマズミ、オオカメノキ、タニウツギ、エゾアジサイ
- ・先駆樹種 ハンノキ

○試験地 3（田子町植樹）

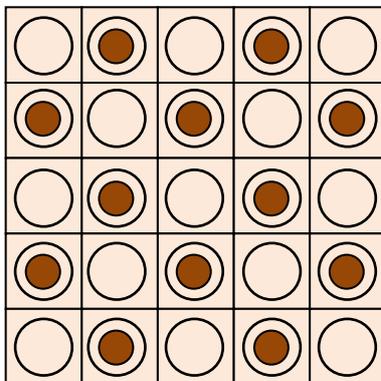
田子町が高木類、低木類を合わせた 12 種類の樹種を使用し、計 25 本の苗木を植樹しました。

3 植樹方法

断面図

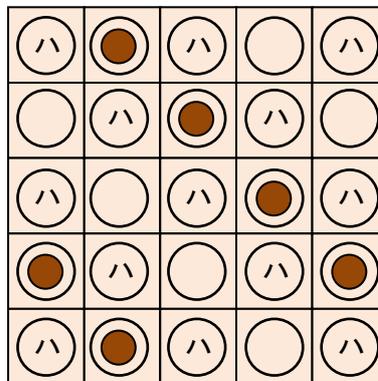


試験地 1 平面図



凡例	
高木	●
低木	○

試験地 2 平面図



凡例	
ハンキ	ハ
高木	●
低木	○

4 モニタリング調査

試験植樹では、ポット苗の活着や枯死が考えられるほか、周辺からの樹木や草本類の自然侵入等、様々な消長が想定され、またポット苗には植栽方法や立地の違いに応じた生長の違いが想定されることから、今後、四半期ごとに下表に示す項目を2年以上記録することとします。

○モニタリング項目

項目	調査内容
個体数	個体数を記録し、活着率を算出する。
活力度	樹木活力度を参考に、地上部の葉の繁り等を評価する。
サイズ	樹高、樹冠幅、胸高直径を記録し、材積を算出することで生長量を算出する。
根 茎	土中の根茎の根量、深さを確認し、施肥のほか、土壌硬度による影響を把握する。
周辺植生	ポット苗以外の侵入状況を記録。除草の必要性や樹木の自然侵入の可能性を検討する。

植栽後の試験地の全景



試験地3 (田子町植樹)

試験地2

試験地1



試験地1



1-25 ○ ヤマツツジ	1-20 ◎ ミズナラ	1-15 ○ オオカメノキ	1-10 ◎ ヤマザクラ	1-5 ○ オオカメノキ
1-24 ◎ シラカンバ	1-19 ○ オオバクロモジ	1-14 ◎ ハウチワカエデ	1-9 ○ タニウツギ	1-4 ◎ ヤマザクラ
1-23 ○ エゾアジサイ	1-18 ◎ ハウチワカエデ	1-13 ○ オオバクロモジ	1-8 ◎ イタヤカエデ	1-3 ○ ガマズミ
1-22 ◎ ミズナラ	1-17 ○ エゾアジサイ	1-12 ◎ ブナ	1-7 ○ タニウツギ	1-2 ◎ イタヤカエデ
1-21 ○ エゾアジサイ	1-16 ◎ ブナ	1-11 ○ ヤマツツジ	1-6 ◎ ミズナラ	1-1 ○ ガマズミ

凡例	高木類	◎
	低木類	○

試験地2



2-25 ○ ハンノキ	2-20 ◎ イタヤカエデ	2-15 ○ ハンノキ	2-10 ○ タニウツギ	2-5 ○ ハンノキ
2-24 ○ オオカメノキ	2-19 ○ ハンノキ	2-14 ◎ シラカンバ	2-9 ○ ハンノキ	2-4 ○ ガマズミ
2-23 ○ ハンノキ	2-18 ○ オオバクロモジ	2-13 ○ ハンノキ	2-8 ◎ ミズナラ	2-3 ○ ハンノキ
2-22 ◎ ハウチワカエデ	2-17 ○ ハンノキ	2-12 ○ エゾアジサイ	2-7 ○ ハンノキ	2-2 ◎ ヤマザクラ
2-21 ○ ハンノキ	2-16 ◎ ブナ	2-11 ○ ハンノキ	2-6 ○ ヤマツツジ	2-1 ○ ハンノキ